

みずほCustomer Desk Report 2019/03/04 号(As of 2019/03/01)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.53
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	111.37	1.1373	126.67	1.3263	0.7100
SYD-NY High	112.08	1.1409	127.50	1.3286	0.7121
SYD-NY Low	111.33	1.1353	126.65	1.3172	0.7070
NY 5:00 PM	111.92	1.1368	127.21	1.3208	0.7078
NY DOW	26,026.32	110.32	日本2年債	-0.1500	1.00bp
NASDAQ	7,595.35	62.82	日本10年債	-0.0200	1.00bp
S&P	2,803.69	19.20	米国2年債	2.5557	3.85bp
日経平均	21,602.69	217.53	米国5年債	2.5604	4.57bp
TOPIX	1,615.72	8.06	米国10年債	2.7576	4.17bp
シカゴ日経先物	21,760.00	270.00	独10年債	0.1820	0.10bp
ロンドンFT	7,106.73	32.00	英10年債	1.2940	▲0.65bp
DAX	11,601.68	86.04	豪10年債	2.1435	4.15bp
ハンセン指数	28,812.17	178.99	USDJPY 1M Vol	5.31	▲0.27%
上海総合	2,994.01	53.05	USDJPY 3M Vol	5.96	▲0.19%
NY金	1,299.20	▲16.90	USDJPY 6M Vol	6.70	▲0.02%
WTI	55.80	▲1.42	USDJPY 1M 25RR	-0.79	Yen Call Over
CRB指数	181.50	▲1.25	EURJPY 3M Vol	6.73	▲0.17%
ドルインデックス	96.53	0.37	EURJPY 6M Vol	7.47	▲0.07%

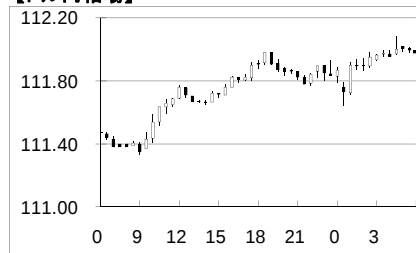
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月1日	10:45	中 Caixin製造業PMI	2月 49.9	48.5
	18:30	英 住宅ローン承認件数	1月 66.8K	63.4K
	18:30	英 マークイット製造業PMI	1月 52.0	52.0
	22:30	米 個人所得(前月比)	1月 -0.1%	0.3%
	22:30	米 個人支出(前月比)	12月 -0.5%	-0.3%
	22:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	12月 0.2%/1.9%	0.2%/1.9%
	23:45	米 マークイット製造業PMI・確報	2月 53.0	53.7
3月2日	00:00	米 ISM製造業景況指数	2月 54.2	55.8

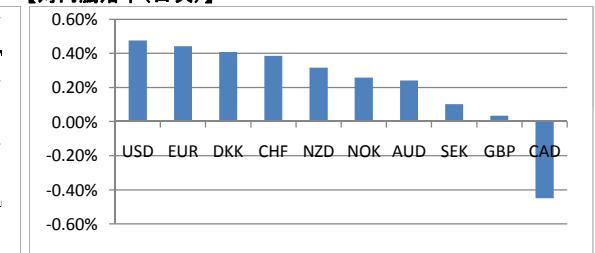
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月4日	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	1月 0.3%/2.9%	-0.8%/3.0%
3月5日	00:00	米 建設支出(前月比)	12月 0.2%	0.8%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.40—112.30	1.1330—1.1430	126.50—128.00

【マーケットインプレッション】

先週金曜日の海外市場でのドル/円は堅調な値動き。米中貿易協議の先行きへの楽観的な見方を背景にリスク回避の姿勢が緩和し一時112.08をつけるなど、昨年12月20日以来約2か月ぶりの円安水準となった。米中間での通商合意については、米国が昨年から課している対中関税の全てか大半が撤回される可能性が強く、リスクセンチメントの改善が期待される一方で、トランプ米大統領からはドルが強すぎるとの発言も出ており、政治的要因によって短期的には上下どちらにも動きうる可能性がある。

東京	東京時間のドル円は111.37レベルでスタート。2月28日に発表された第4四半期米GDP速報値の好結果を受けたドル買いの流れを引き継ぎ、円安基調となった。午後1に日経平均株価が一段高となったことも後押しとなり、一時111.78と年初来高値をつけ、111.76レベルで海外へ渡った。また、中国2月Caixin製造業PMIが市場予想を上回ったこともサポート材料となった。
ロンドン	ロンドン時間、111.76レベルでオープン。東京時間の流れを引き継ぎ、111.98まで上昇。その後は111円台後半で小幅推移し111.86レベルにてニューヨークへ渡った。ポンドドルは1.3256レベルでオープン。英2月製造業PMIが52.0へ低下し、雇用減が見られたものの英1月住宅ローン承認件数は上昇したためポンドは支えられた。1.32台前半で次第に様子見となり1.3237レベルでニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	海外時間にリスク選好ムードが強まり、日本株や欧州株は堅調に推移。この流れからドル円は一時111.98まで上昇するが、心理的節目の112円が意識され、小幅反落し111.86レベルでNYオープン。米10年債利回りが2.74%近辺で高止まりする中、NY期方は111.90近辺でもみ合い。その後、NY10時に発表された米2月ISM製造業景況指数や2月シカゴ大学消費者マインドが予想を下回ったことから一時111.64まで下落。しかし、売り一巡後はドルが買い戻され、111.99まで反発。NY後は米金利が一段と上昇する動きに連れ高となり、昨年12月20日以来の高値112.08まで上昇。週末を控え、手仕舞い売りが見られたことで反落し、111.92レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.13台後半で方向感なく推移。1.1353まで下落する場面もみられたが、欧州株やユーロ円の上昇にサポートされ1.1387まで上昇し、1.1378レベルでNYオープン。NY朝方発表された米経済指標にドル売りが強まり、一時1.1409まで上昇するが、滞空時間は短く、直ぐに1.13台に押し戻される。NY午後は米金利上昇や3月7日のECB理事会を控えたポジション調整の売りが見られる中、1.1355まで反落。NY終盤は小幅値を戻し、1.1368レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 福田・田家